

## ミュンヘン・オクトーバーフェスト2016 収支決算

相次ぐテロへの対策として、会場をフェンスでかこみ、入り口で荷物チェックをすることになった今年のビール祭り…ミュンヘンだけでなく、他のビール祭り、ワイン祭りでも入り口ではセキュリティチェックを実施、リュックサックの持ち込み禁止、ベビーカーもパイプチェックが厳しく、ミュンヘンのオープン初日は大雨で行進がずぶ濡れ、期間前半は天候不順、当初は荷物検査で入場に長蛇の列が出来、そのTVニュースや新聞報道で、来場者が減少… ドイツ国内の空港ターミナルでも、金属探知機だけでなく、直接ローラーで火薬反応チェックも行われ、テロに対する厳重警戒態勢が引かれた 終盤ではチェックも少し緩み、天候も回復し、連日28℃と夏日を記録、来場者ものんびりムードを満喫することが出来、最終的には来場者は5%の減少



通常は16日の開催日数だが、10月3日(月曜日)が東西統一記念日の祝日にあたり、1日営業日が増えたのに、来場者は初めて減少に転じた

### 2016年の結果

来場者**560万人** (590万人/2015年) 17日間 32.9万人/日 初めて来場者が減少

総売り上げ高 955百万ユーロ (11兆46億円) 67億4千117万円/日 18800円/人

|                         |             |                  |
|-------------------------|-------------|------------------|
| 480百万€(5兆76億円): 50%     | 300百万€: 31% | 205百万€: 19%      |
| 会場内での飲食、屋台販売の売上<br>遊戯施設 | ホテル、宿泊費用    | 市内、周辺での<br>飲食、観光 |

**1人当たりの消費金額** 74ユーロ~8800円= ビールなど飲食、ジェットコースターなどの遊戯施設に使った



ミュンヘン市当局は、ドイツ鉄道中央駅裏手に隣接する広大な土地(通称:Teresien Wiese テレージェン・ヴィーゼ= テレージェン女王の芝生)を所有することで、毎年巨大な現金収入を得ることに成功し、その旨味をたっぷりと手にしている

14の巨大テントから、焼きソーセージなどの小さな屋台販売、絶叫マシンや回転木馬など最新マシンからノスタルジーまで、様々な遊戯施設から巨額の賃料を得ている

賃料は50,000€(600万円)~170,000€(2040

万円)と定められており、最小のブースでも1日35万円は毎日の売り上げから賃料に消える

ワイン祭りでソーセージやステーキを販売していたStorkさんの経験では90年代当時1日100万円は売れていたと聞く1万人は入るビアテント(14基)では、ビールと食べ物で最低20€x1万人=2400万円となり、座席1回転で賃料はペイ出来る計算になる 朝10時から夜中まで、何回転もして、座る席すら見つからない混雑したテントでは、いったいいくら売り上げるのか想像もつかない (写真はチキン、ローストポークなど1度に10皿の料理を運ぶ女性)

しかし、今年はいつもの売上とは違うとコメント：普段より12～15%は飲食の売上が落ちているとの事  
それでも、1度に1ℓ入りの重いビアジョッキを10個も運ぶたくましい女性は、給料の他にチップだけで期間中30万円は稼ぐと言う～ビール製造会社や外食産業からの正社員8000人と、期間限定雇用員4000人が働く

## 重要な、別の売上

別会社として起業したオフィシャルグッズの販売では、毎年デザインが変わるオフィシャルビアマグ、お買い物用のバッグ、ロゴ入りTシャツ、マスコット人形などの売上が会場内だけでなく、市内各地、インターネットでの販売も巨大な売上げとなっている～右の写真は、民族衣装を着てレブクーヘンを買う日本人の女の子たち：新聞報道より



**民族衣装で出かけよう！！** 普段もバイエルンっ子はお祭りや結婚式などに着る民族衣装：Trachtentラハテンでオクトーバーフェストに出かけるが、多くの外国人が「この時こそ！！」と民族衣装を着て会場内や市内を歩いている



この売り上げも大きく、期間前になると、ほとんどのデパート、衣料品店、駅の構内でも、セットで59€、上等のものでは4000€もするものまでオンパレードに並ぶ

**期間中の消費量：**飲まれたビールが60000ヘクトリットル、50万羽のチキンの丸焼き、牛の丸焼き109頭(前年122頭)、仔牛の丸焼き58頭が消費された

消費電力270万キロワット、185,000キュービクメーターのガス熱源、90,000キュービクメーターの水道水が利用された

**迷子：**保護した迷子の数158人 **忘れ物：**衣料680、財布660、パスポート580、スマホ410、

眼鏡250、鍵220、バッグ&リュックサック90、傘55(ドイツ人は傘を忘れない?)、宝石&腕時計55、カメラ15

**急性アルコール中毒とスリ：**民族衣装で可愛く着飾る女の子や、友達同士で集まる若者も多く、歌って騒ぎ、酔いつぶれて待機している救急隊に救助される男女や、酔いつぶれてお財布を抜き取られる泥棒も横行している

朝早く7時ごろ、散歩がてらに場内を歩くと、散乱した紙屑の中で、木製の長椅子に、夜明かした若者たちが二日酔いの顔で寝込んでいるのをたくさん見かける～青年たちには1年に一度の大きなお祭りなのだろう

## ミュンヘンの屠場移転へ～もう、ミュンヘナーヴァイスヴルストとは呼べない??



オクトーバーフェストの会場の南＝地下鉄駅 Pozzistraße ホツツイーシュトラセから ZenettiStraÙe ツェネッティシュトラセに入ると古い大きな工場群が並ぶ

中央駅からも近い広大な敷地が今、再開発されようとしている。屠場だけでなく、有名なビール工場 Paulaner、マカニ、パスタメーカー Bernbacher、レンズメーカー Rodenstock など中央駅南側は広大な工場があり、大きな屠場もここに位置し、周辺は、食肉

加工用包装資材等の店 Megem の他、多数の食肉加工会社もあり、日々ミュンヘンの台所を支えている

近くに新たな国民劇場が建つことになり、この場所の3つの通りを合わせて巨大な高級マンションを立てる計画が持ち上がり、屠場、食肉工場を市の北東に隣接する Aschheim アッシュハイム市への格安の値段での移転計画を提示された

2つの屠札会社にはすでに通達され、牛の屠札専門の Ludwig Attenberger 社は、既に新社屋の設計に入った

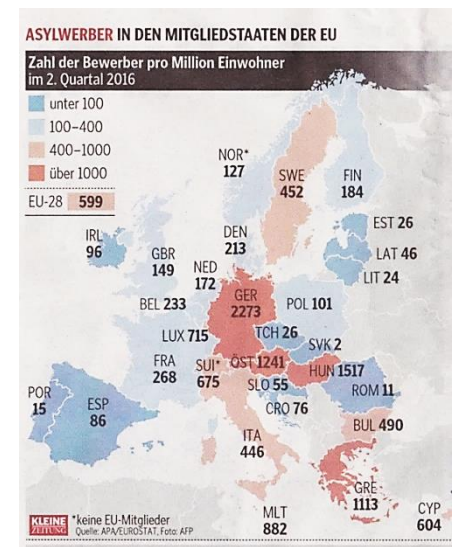
2000年にミュンヘン市から企業に屠場が売却された時点では移転案は無かったが、ミュンヘンの地価高騰もあり、格安の値段で代替地を提供してもらい、市内のこの好立地を好条件で買い戻してくれるとあって、提案はスムーズに受け入れられそう・・・環境問題のクレームは出ておらず、逆に刃物砥ぎ業者など、関連業者は顧客が半減すると嘆く

特に、周辺の加工業者は、市内への配達や自分の店への連絡などで、今の場所を動かたくないのは当然！！

「屠札直後の新鮮な肉を加工して、出来立てのヴァイスヴルストを急いで店に運ぶにはここしか考えられない！！」と、今ミュンヘンで一番売れている肉屋 Andreas・GaÙner アントレアス・ガスター氏(写真)は移転の話には全く乗り気ではなく、名物のミュンヘナーヴァイスヴルストがアッシュハイマーヴァイスヴルストに変わるのは困る・・・と嘆く

まだ、高級マンションの設計は進んでおらず、7ヘクタールの広大な土地の行方はまだ定まらない

# ドイツの公的援助はいつまで・・・難民受け入れ・地域の軋轢を生む



中東からの難民の数は、2015年9月にハンガリー国境閉鎖、2016年3月にギリシャとトルコのルートも閉鎖され、ヨーロッパへの流入は劇的に減った。2015年10月にギリシャに流入した難民はひと月で212,000人に達していたが、2016年3月までで、4月以降はゼロと、ストップしている。

しかし、これまでにヨーロッパ各地へたどり着いた難民は、保護から生活=収入の場所へとその存在の形を変え、地域との軋轢も避けられない。

2015年末までに、ドイツには110万人の難民が北アフリカと中東から入り、今年9月には、40,000人の難民がドイツで職業訓練が終了、その後何らかの職場を与えられる段取り。

新たな職場を創造するというより、ドイツ人の職場を奪いかねない状態は、ドイツ国民感情に悪影響を与えている。

今年に入ってから、さらに国民の税金の投入が続き、前半期 EU28 かの人口100万人当たり、いくら税金を使ったかが右に表されている。ドイツが格段に多い(2億7千万円)が、総人口が少ないハンガリーの搬出金が多い(1.8億円)。

下の表の国別総金額ではドイツが半年で434億円!!!と桁違いに大きい。

経済的に苦しいイタリアが2位で、59億円と多額なのに対して、他の

先進国～伊・仏・英は意外に少なく、国土が狭いオーストリアは人口比でも多額のお金29億円を拠出している。

ドイツ連邦政府は各州に難民申請者一人当たり670€の支援金を拠出しており、去年受け入れた110万人に対してだけでも884億円かかり、今年さらには80万人の難民が増える予想で、これではドイツ国民のメルケル首相に対する非難も大きくなるはず。

公共建物の建設や語学、職業訓練、職場の確保など、どこまでも費用がかかるのは明白～古い体育館などに保護している難民も、異文化問題が生じて来ており、賃貸家屋の破壊行為で退去を求めても居住権を主張したり、雇用の軋轢、宗教など……問題がさらに深くなっている＝直接ドイツ人に尋ねると続々と不満が噴出する・・・

6月のイギリスのBrexit: EU離脱の結果も影響してか、9月のドイツ

北部の選挙で反対派が躍進し、メルケル首相も、終わりのない難民受け入れの誤算に、「出来る事なら時間を前に戻したい」と、選挙結果後コメントするなど、ドイツの難民問題は終わりを知らない。

| 国民100万人当たりの難民救済費用の搬出額 |           |         |
|-----------------------|-----------|---------|
| 2016年前半6か月            | 金額単位€     | 円換算/千円  |
| ドイツ                   | 2,273,000 | 272,760 |
| ハンガリー                 | 1,517,000 | 182,040 |
| オーストリア                | 1,241,000 | 148,920 |
| ギリシャ                  | 1,113,000 | 133,560 |
| マルタ                   | 882,000   | 105,840 |
| ルクセンブルグ               | 715,000   | 85,800  |
| スイス 非加盟国              | 675,000   | 81,000  |
| キプロス                  | 604,000   | 72,480  |
| ブルガリア                 | 490,000   | 58,800  |
| スウェーデン                | 452,000   | 54,240  |
| イタリア                  | 446,000   | 53,520  |
| フランス                  | 268,000   | 32,160  |
| ベルギー                  | 233,000   | 27,960  |
| デンマーク                 | 213,000   | 25,560  |
| フィンランド                | 184,000   | 22,080  |
| オランダ                  | 172,000   | 20,640  |
| イギリス                  | 149,000   | 17,880  |
| ノルウェー                 | 127,000   | 15,240  |
| ポーランド                 | 101,000   | 12,120  |
| アイルランド                | 96,000    | 11,520  |
| スペイン                  | 86,000    | 10,320  |
| クロアチア                 | 76,000    | 9,120   |
| スロベニア                 | 55,000    | 6,600   |
| ラトビア                  | 46,000    | 5,520   |
| エストニア                 | 26,000    | 3,120   |
| チェコ                   | 26,000    | 3,120   |
| リトアニア                 | 24,000    | 2,880   |
| ポルトガル                 | 15,000    | 1,800   |
| ルーマニア                 | 11,000    | 1,320   |
| スロバキア                 | 2,000     | 240     |
| 28か国平均                | 599,000   | 71,880  |

| 2016年1~6月難民救済搬出金額総額 |             |            |
|---------------------|-------------|------------|
|                     | 金額単位€       | 円換算/千円     |
| ドイツ                 | 361,710,000 | 43,405,200 |
| イタリア                | 49,380,000  | 5,925,600  |
| フランス                | 35,785,000  | 4,294,200  |
| オーストリア              | 24,680,000  | 2,961,600  |
| ハンガリー               | 21,745,000  | 2,609,400  |
| イギリス                | 19,830,000  | 2,379,600  |
| その他                 | 79,670,000  | 9,560,400  |
| EU28か国合計            | 592,800,000 | 71,136,000 |

## 崖っぷちの Kaiser's Tengelmann (カイザー・)テンゲルマン



1867年創業、1993年には、500億マルクの売り上げを誇り、当時ドイツ最大のスーパーマーケットだったカイザー・テンゲルマン

70年代であろうか、当時の混雑の様子が記録に残る。店名入りの風船を持つ子供も。

“Ich geh' zum Tengelmann”(テンゲルマンに行くわ)は、「買い物に行く」の代名詞となるほどだった

2000年に現在の経営者 Karl-Erwan Haub 氏が父親から経営権を譲られた時、今の現状を想像できただろうか？

16000人の雇用者を抱える大手スーパーが2年にわたる買収劇の混乱で瀕死の状態となっている。

独禁法に触れるのでは？と差し止められた売上1位のEdekaとの合併は二転三転し、合併に抗議した売上2位のライバル社Reweと店舗を分け合う話が今、進んでいる……今や合併というよりは陣取り救済劇になっているEdekaはベルリン、Reweはバイエルンで、2つのテリトリーを分け合う交渉が進んでおり、11月11日までに最終合意がなされる模様だが、他社 Norma や Markant が異議を申立てており、予断は許さない

16000人の販売、食肉加工、倉庫管理、配送運転手などの従業員の身の振り方に今、注目が集まり、連邦経済省大臣 Sigmar Gabriel (SPD) は、集会を開いた従業員に対し、「安心して年を越して良い、5年間は雇用を保証、エデカの社員より雇用を優先させる！」と述べている……巨大ホームセンターOBI、衣料品 Kik など、関連企業の受け入れ先もどうなるのか？



客足がめっきり途絶えたテンゲルマンの入り口

## 異物混入

日本国内で10月に2社の異物混入事件が発生し、1社は最初否定したものの、製造工程での虫の混入を謝罪、1社は全店一時閉店と、一応対処し結着した模様だが、ドイツでは、社会的な制裁が大きい

ミュンヘンを中心に250のパンの店を経営していた Müller ミュラー社(1930年創立)は、2009年~2010年複数の工場管轄の保健局による工場抜き打ち検査で昆虫類やネズミの糞を検出、その後も衛生管理が改善されなかった。



ついに2012年1月の立ち入り検査により工場内にネズミの糞やゴキブリ、アブラムシが多数いることを公にされ、Aldi や Lidl など大手スーパーから締め出され、消費者からも敬遠され支払い不能に陥り倒産……経営自体がとん挫してしまった。

製品自体から個体が見つかったわけではないが、消費者がパンを大量に捨て、半年後の2012年7月には Höfinger



氏が娘 Evi Müller 氏から株の半分を買い取り共同経営者となり盛り返している

70歳になる父親=旧経営者 Klaus Dieter 氏は衛生管理の不履行により起訴され、4年後の2016年9月末にやっと結審、2人の現場責任者と共に有罪の判決を受けた~9000~13000€の罰金、1年から1年10か月の有罪判決であるが執行猶予。工場内の不衛生は、経営者も認知していたのか？

指導への対処を怠っていたわけだが、“故意ではない”との審判~10月の新聞報道は“甘すぎる判決”と掲載……予想よりも軽い刑罰になったのは、消費者が買ったパンが即座にゴミの山となり、ブランドイメージも大きく壊れたことにより会社経営が不能になった事で、社会的には既に制裁を受けていると考慮されたスキャンダル発覚後の経営交替で持ち直し、170百万€の年間売上=1700人を雇用、374店舗：現在1日300t(年間7万トン)のパンを生産、18万人/日を買う。



写真は「当店ではミュラー社のパンは現在扱っておりません」の当時の表示